

様式 A-1
(FY2020)

令和2年 8月 28日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 新潟市立万代高等学校 : 相馬泰(教諭)
2. 講師氏名: Dr. VINCZE DAVID
3. 講義補助者氏名: 新妻実保子 准教授
4. 実施日時: 令和2年 8月 17日 () 14:30 ~ 17:30
5. 参加生徒: 1年生 40人、 2年生 人、 3年生 人 (合計 40人)
備考: (例: 理数科の生徒) 英語理数科の生徒
6. 講義題目: 動物行動学に基づくソーシャルロボットの行動モデルの獲得
7. 講義概要: 講師の出身地の紹介と、日本との関係の話の後、ヒトの求める答えを見越した行動をとれるイヌの行動モデルを利用することで、ソーシャルロボットの行動プログラムを作ることができると予想して研究をすすめている。未来は予測できないが、作ることができる。の精神でチャレンジしている。
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 70分 質疑応答時間 40分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
Webexによる遠隔講義、モデルやシミュレーションの画面を使った説明
 - 3) 事前学習
 有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 事前に送付された英単語調べ、Society5.0 の下調べのあと班毎に過程にいるロボットに必要な機能を見当した。
9. その他特筆すべき事項:

音声や画質が心配されたが、標準的なシステムで十分な品質が得られた。話者の様子が見えるので、動画配信にはない一体感があった。リアルタイムで応答があるので、質疑応答が充実すると意味のある方法だと思った。